

| | 課題分析 | 授業改善策 | 改善状況 |
|----|--|---|------|
| 国語 | <p>【文章読解】 文章を読み取る力に個人差が大きく、読解の基本ができていない生徒がいる。</p> <p>【表現力】 自分の考えを表現することに意欲的な生徒が多いが、表現する方法について知らずに苦労している生徒もいる。</p> | <p>【文章読解力の向上】 説明的文章に関しては、文章の構成をつかんでから、必要な箇所を精読できるよう指導する。文学的文章は読み取るポイントを繰り返し指導し、読み方に必要な型を身に付けさせる。</p> <p>【表現力の向上】 文章や発話について型を与え、それに沿って発言する機会を増やしていく。また、友達の意見を聞き、記録し、それをもとに自分の意見を修正し文章にまとめる作業を行い、生徒の表現力向上を図る。</p> | |
| 社会 | <p>【関心・意欲・態度】 長く話を聞くことが苦手な生徒や学習内容に興味をもてない生徒がいる。</p> <p>【思考・判断・表現】 考えに自信をもち、自分の言葉で表現することができない生徒がいる。</p> <p>【技能】 資料に苦手意識をもつ生徒がいる。</p> <p>【知識・理解】 基礎的な知識が身に付いている生徒は多いが、社会的事象の背景を理解していない生徒が多い。</p> | <p>【関心・意欲・態度】 視覚的な教材を活用して、興味をもたせる。指示を短く、具体的にし、机間指導により、声掛けをする。</p> <p>【思考・判断・表現】 発問を工夫し、短い文章でまとめる場面を多く設定する。</p> <p>【技能】 資料を多く活用し、慣れさせる。</p> <p>【知識・理解】 お互いに意見交換したり、説明し合うことで、理解を深める活動を行う。ワークシートを工夫し、振り返りがしやすいものにする。</p> | |
| 数学 | <p>【計算力】 計算の理解度やスピードの差が大きい。分数などの計算に苦手意識のある生徒がいる。</p> <p>【文章読解力】 問題文を読み、正しく立式することを苦手とする生徒が多い。</p> | <p>【基礎計算力の向上】 定期的に問題集に取り組む時間を確保する、章ごとに確認テストを実施するなど、繰り返し学習内容を振り返ることで、理解を定着させる。章末問題などは、「速く、正確に」を目標に、時間を意識して取り組ませる。</p> <p>【話し合い活動の充実】 毎時間の学び合い活動を通して、人に説明する力・人の話を聞く力をつけていく。 必要に応じて図や表を活用できるよう、授業の中で情報を提示していく。</p> | |
| 理科 | <p>【理解】 ○各項目について、理解が充分ではない生徒がいる。</p> <p>【基礎的事項】 ○基礎的な科学の知識の定着が不足してい</p> | <p>【理解】 ○個々の事象に対する理解が深まるよう、ICT機器を活用するなど教材や指導を工夫する。</p> <p>【基礎的事項】 ○基礎的内容が定着するよう、ワークシートの工</p> | |

| | | | |
|------|---|---|--|
| | <p>る生徒がいる。</p> <p>【文章表現能力】</p> <p>○質問に対する答えの文章として成り立っていない文や、的外れな内容の文を書く生徒がいる。</p> <p>【科学的思考】</p> <p>○「科学的に考える」姿勢が、十分に身に付いていない。</p> | <p>夫や小テスト等を実施する。</p> <p>【文章表現能力】</p> <p>○文で表現させる指導を随時行う。</p> <p>【科学的思考】</p> <p>○科学的思考を促すような、授業展開・発問を行う。</p> | |
| 音楽 | <p>【興味・関心】</p> <p>○生徒の興味・関心を高める工夫が必要である。</p> <p>【創意工夫】</p> <p>○基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育て、音楽表現するための技能を身に付けさせる必要がある。</p> <p>【達成感】</p> <p>○学校行事との関連を図りながら、達成感をもたせる工夫が必要である。</p> | <p>【鑑賞の能力】</p> <p>○多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。</p> <p>【教材選択】</p> <p>○音楽に対するイメージをもち、創意工夫して表現できる教材を精選する。</p> <p>【自己評価】</p> <p>○自己評価を行い、授業への取組を確認する。</p> | |
| 美術 | <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>○落ち着いて授業に取り組めるが自分の作品に対する評価が低いので自分の作品に対する評価を高める。</p> <p>○長い時間、集中して制作に取り組めるよう工夫する。</p> <p>【発想や構想力】</p> <p>○目に見えないものを想像し、描写する力を高める。</p> <p>【創造的な技能】</p> <p>○ものを観察し、形、陰影を描き出す写実力を高める。</p> | <p>【制作意欲を持続するために】</p> <p>○見通しをもって計画的に作品作りができるようにし、作品鑑賞会で互いの良い点を発表させる。</p> <p>○身近な生活の中に美術が活かされていることを認識できる時間を設ける。</p> <p>【発想力を高めるために】</p> <p>○参考作品を提示し、制作意欲を高める。苦手意識のある生徒へ個別指導を行う。達成感が味わえる教材作りをする。</p> <p>【創造的な技能をつけるために】</p> <p>○短時間デッサンタイムを習慣化し、各生徒の成長がわかるように日付と目標を記録する。</p> | |
| 保健体育 | <p>【健康安全に留意した授業】</p> <p>○『授業規律』をしっかりと守り、落ちついて安全に授業に取り組む姿勢を身に付けさせる必要がある。</p> <p>【個に応じた指導】</p> <p>○生徒の能力差を考慮し、個の課題に応じた指導の工夫が必要である。</p> <p>【自主的課題解決】</p> <p>○自ら課題を設定し、自主的に課題解決に</p> | <p>【健康安全な授業】</p> <p>○準備体操、補強運動を丁寧に行い、授業の説明や注意点を落ち着いた態度で聞かせ、理解させる。</p> <p>【段階的な指導の工夫】</p> <p>○授業のねらいを明確にし、見通しをもたせ、スモールステップで技能練習を繰り返し行う。また、単元によっては ICT 機器を取り入れ視覚教材を有効に活用する。</p> | |

| | | | |
|------------------|--|---|--|
| | <p>取り組む力を育む指導が必要である。</p> | <p>【課題発見活動】</p> <p>○授業の振り返りを『個人記録カード』に記入させ、点検しアドバイスをする。また、単元によっては ICT 機器などを有効に活用する。</p> <p>○グループやペア学習を取り入れ、お互いに意見を出し合って、課題解決のヒントに気付く活動を取り入れる。</p> | |
| <p>技術 家庭</p> | <p>●技術分野</p> <p>【興味・関心】</p> <p>○「身の回りの生活とものづくり」に関して、小学校での学習との関連性をもたせ、関心意欲を高める必要がある。</p> <p>【工夫創造】</p> <p>○基礎的・基本的な知識の定着を図る必要がある。その知識をもとに、新しい発想を生み出そうとする姿勢を育む必要がある。</p> <p>【技能】</p> <p>○ものづくりに必要な技能の習得を製作実習を通して学ぶ必要がある。</p> <p>◆家庭分野</p> <p>【食生活への関心】</p> <p>提出物や当初アンケートの内容から、食への関心が十分とは言えない。生徒一人一人が自身の食生活に関心をもてるように工夫することが必要である。</p> | <p>●技術分野</p> <p>【授業のねらい・目標の把握】</p> <p>○題材ごとの評価内容・方法を明確に提示し、授業のねらい・目標を理解させる。実生活との結びつきを意識させ、指導を行う。</p> <p>【教材選択】</p> <p>○実生活に身近な教材を選択し、製作実習において、一つの作品を時間内に終わらせられる教材を選択し、作品を完成させた達成感を味わわせる。</p> <p>【学習の定着】</p> <p>○製作実習時の技能試験、題材終了時に確認テストを実施する。</p> <p>◆家庭分野</p> <p>【実生活に即した実践的な授業】</p> <p>生徒一人一人が自身の食生活を振り返ったり、自分で食事の計画を立てたりする活動を増やし、食生活への関心を高める。</p> | |
| <p>外国 語</p> | <p>【スローラーナーに応じた指導】</p> <p>学級間での習熟度に差が大きくなっている。</p> <p>【理解】</p> <p>英文を読む際、発音や読み方に自信がなく、声が小さくなってしまいう生徒が多い。</p> | <p>【グループワークの活用】</p> <p>○学びあいの活動の時間を増やし、グループワークを通じて助け合い、習熟度の差を埋める。</p> <p>○希望者に英作文の課題を与えることで、勉強に取り組む意識を高める。</p> <p>【英語の読み方の学び合い】</p> <p>○クラスメイトと英語の読み方について教え合い、正しい発音を理解させる。</p> <p>○フォニックスを理解することで、初めて学ぶ英単語でも読めるようにする。</p> | |